

News Release

2025 年 7 月 吉日
国立大学法人 一橋大学
社会科学高等研究院
医療政策・経済研究センター (HIAS Health)

【一橋大学】「HIAS Health 医療経済短期集中コース」の受講申込みを受付中

一橋大学では、「HIAS Health 医療経済短期集中コース」の受講申込みの受付を 2025 年 6 月 20 日 (金) より、開始しております。

「HIAS Health 医療経済短期集中コース」は、医療経済分析の手法を基礎から実践的に学ぶ、社会人の方を対象とした **2週間(週末の4日間)の短期集中コース**です。第 8 回目となる 2025 年度は、**【11 月 14 日 (金)から 11 月 23 日 (日)】**に開講いたします。

医療・介護の現場の専門職、医療・社会保障政策を立案する自治体職員、また民間企業の方を対象に、Evidence-based Policy Making (EBPM-科学的な根拠に基づく政策立案)の考え方と根拠の求め方を、演習を交えて基礎から学び、理解していただくことを目的として、一橋大学大学院経済学研究科および社会科学高等研究院 医療政策・経済研究センター (HIAS Health) が実施するものです。

今年度は、医療のデジタル化(DX)を取り上げます。医療費が増加する一方、医療の担い手が不足する中で、デジタル化は医療提供の効率化に不可欠と言えます。医療情報の利活用や医療の現場におけるデジタル技術の利用やその課題をテーマにした講演等を企画しています。

コースの概要

期間	2025 年 11 月 15 日 (土)、16 日 (日)、22 日 (土)、23 日 (日) 11 月 14 日 (金) 15 時から、希望者を対象に「コースで使われる統計学の基本」の講義を行います。
会場	オンラインもしくは一橋大学 千代田キャンパス
受講料	12 万円／人(全日程参加・一般価格) ※その他の設定あり
申込方法	Web 申込み : https://health-economics.hias.hit-u.ac.jp/program/
受付期間	6 月 20 日 (金) から 8 月 31 日 (日) まで
定員	25 名程度。受講申込書に基づいて書類選考が行われます。



コースの特徴

- ・ 一橋大学ならではのプログラム(社会科学の最新の理論と手法を紹介)
- ・ 「EBPM(科学的な根拠に基づいた政策立案)」
- ・ 実務的な統計手法も習得
- ・ 座学とグループワークを合わせたアクティブ・ラーニング
- ・ 受講生間の交流

お問合せ先

国立大学法人 一橋大学
社会科学高等研究院
医療政策・経済研究センター (HIAS Health)
住所 〒186-8601 東京都国立市中 2 丁目 1 番地
E-mail hias-info@ad.hit-u.ac.jp
ウェブサイト <https://health-economics.hias.hit-u.ac.jp/>

一橋大学 HIAS Health 社会連携プログラム 第8回医療経済短期集中コース（2025年）

時間割

20250627現在

11月	14日	(金)	15:00 — 18:30	コースで使われる統計学の基本 ※希望者のみ(任意受講)。表計算ソフトを用いた実技など。 講師：中村良太 ロンドン大学衛生熱帯医学大学 国際保健・開発学科准教授／HIAS 客員研究員
11月	15日	(土)	9:00 — 9:30	オリエンテーション
			9:30 — 11:10	テーマ1：医療の政策評価 講師：高久玲音 一橋大学経済学研究科教授／HIAS Health 研究員
			11:10 — 11:20	休憩
			11:20 — 12:10	実践現場からの報告1：在宅医療の現場から見える超高齢化に伴う地域医療ニーズ 講師：佐々木淳 医療法人社団悠翔会理事長
			12:10 — 13:40	昼食（自己紹介等オンライン交流会） テーマ2：医療の費用対効果（HTA） 講師：五十嵐中 東京大学大学院薬学系研究科特任准教授／HIAS Health 客員研究員
			13:40 — 15:20	休憩
			15:20 — 15:30	休憩
			15:30 — 17:00	時事報告：日本の財政と医療・介護（仮題） 講師：(調整中) 財務省主計局社会保障担当
11月	16日	(日)	9:30 — 11:10	テーマ3：医療機関の管理会計について 講師：荒井耕 一橋大学大学院経営管理研究科教授／HIAS Health 研究員
			11:10 — 11:20	休憩
			11:20 — 12:10	実践現場からの報告2：地域に根ざした医療DXの実装に向けた課題 講師：藤田卓仙 慶應義塾大学医学部医療政策・管理学教室特任准教授／東京財団・主席研究員
			12:10 — 13:10	昼食
			13:10 — 14:50	テーマ4：医療提供体制の効率化に向けた情報連携 講師：伊藤由希子 慶應義塾大学大学院商学研究科教授／HIAS Health客員研究員
			14:50 — 15:00	休憩
			15:00 — 16:30	基調講演：日本の医療データの利活用の現状と課題 講師：森田朗 一般社団法人次世代基盤政策研究所代表理事／東京大学名誉教授
			16:30 — 17:00	グループワーク準備（受講生のみ）
11月	22日	(土)	9:30 — 10:30	テーマ1（演習）
			10:30 — 10:40	休憩
			10:40 — 11:40	テーマ2（演習）
			11:40 — 12:40	昼食
			12:40 — 13:40	テーマ3（演習）
			13:40 — 13:50	休憩
			13:50 — 17:00	グループワーク
			17:00 — 18:30	受講生の交流会
11月	23日	(日)	9:30 — 11:30	グループワーク 報告
			11:30 — 12:30	昼食
			12:30 — 14:30	グループワーク 報告
			14:30 — 14:40	全体写真 撮影
			14:40 — 16:10	パネルディスカッション
			16:10 — 16:20	休憩
			16:20 — 16:40	修了式

受講申込方法等概要

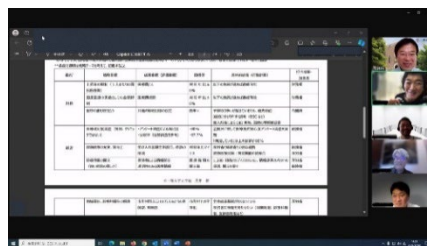
期間	2025年11月14日（金）、15日（土）、16日（日）、22日（土）、23日（日）
会場	オンラインもしくは一橋大学 千代田キャンパス
定員	25名程度（最少催行人数に満たない場合は、コースの開催を中止することがございますので、予めご了承ください。）
受講料	12万円／人 （全日程参加・一般価格） ※ 地方自治体職員（病院勤務者を除く）および大学院生（社会人学生を除く）の方の受講料については、在職・在籍確認の上、5万円／人いたします。 ※ 過去に本コースを受講された方は、実践現場からの報告1、2およびテーマ4を、4万円／人で聴講いただけます。 ※ 第一週目（11月14日、15日、16日）のみご参加の方の受講料については、9万円／人いたします。
受講申込期間	2025年6月20日（金）～8月31日（日）
受講申込方法	Web申込となります。下記のページから受講申込みフォームへお進みください。 https://health-economics.hias.hit-u.ac.jp/program/ 受講申込書に基づいて書類選考を行います。8月末日までにお申込みいただきました方には、選考結果を9月5日（金）までに申込者全員にお知らせします。
受講料の支払	書類選考の合格者には、後日、請求書を発行いたします。10月3日（金）までに入金をお願いいたします。 主催者都合によりコースの開催を中止した場合を除き、受講料の返金はいたしません。予めご了承ください。
実施者	本短期集中コースは、一般社団法人一橋大学知識共創機構からの受託事業として、一橋大学大学院経済学研究科および社会科学高等研究院 医療政策・経済研究センター（HIAS Health）が実施するものです。

第7回医療経済短期集中コース

2024年度の「医療経済短期集中コース」は、2024年11月22日(金)、23日(土)、24日(日)、30日(土)、12月1日(日)の日程で行われました。昨年に引き続き、初日のみ対面開催とした Hybrid 形式で開催し、自治体、医療関係者、コンサル及び製薬企業など多様な分野から16名の受講生にご参加いただきました。



(1日目の対面講義)



(受講生によるグループワーク報告)



(パネルディスカッション)

医療経済短期集中コース 受講生の声

受講者へのアンケートでは、約90%の方から「本コースを誰かに薦めたい」とご回答いただきました。以下、受講生アンケートのご意見から(原文のまま引用)。

- 丁寧に統計の基礎を教えてくださいました。データクリーニングの大切さを認識しました。
- 様々な具体例を提示いただき現状を理解するきっかけになりました。
- 介護における最新の状況と介護情報基盤について理解することが出来た。
- データの取り扱いおよび前提条件について解釈することの難しさと重要性について理解することが出来た。
- 様々な治療がある中で、薬価の考え方など多角的な視点でとらえることが出来た。
- 大変勉強になりました。日本も情緒的でない政策決定ができるといいなと思います。
- 2040年が遠い将来ではない一方で、様々な課題に取り組まれていることを理解することが出来た。
- すぐに実践できるような内容でとても参考になりました。
- 東京都でも区部と市部で大きく事情が異なると感じました。コロナ禍による医療崩壊に続き、東京都内の病院の半分以上が赤字という現状からも国や都の医療構想をしっかりと示してほしいと感じました。
- 普段違う仕事の方と議論が出来たことがよかった。
- エビデンスや費用対効果について、一元的な見方ではなくエビデンスに依拠しながら冷静な判断が必要であるという言葉が印象的であった。既得権益ではなく思想(思い込み)が一番怖いということもまさにそうだなと納得でした。また知識のアップデートのために学びの機会を持ちたいと思いました。ありがとうございました。

一橋大学社会科学高等研究院 (Hitotsubashi Institute for Advanced Study: HIAS)

一橋大学では、日本および世界の喫緊の社会的な重要課題に対して、学際的かつ集中的に取り組む国際共同研究のハブ(拠点)として、2014年に、学長直轄の研究組織「一橋大学社会科学高等研究院」を設置しました。英語名「Hitotsubashi Institute for Advanced Study」の頭文字から HIAS(ハイアスと発音します。)を略称としています。

さらに、2016年2月に HIAS のもとに「医療政策・経済研究センター (HIAS Health)」を設置し、社会的な重要課題の一つである、医療・介護・社会保障を取り巻く問題の解決のために、質の高い社会科学研究によって貢献することを目的に研究を進めています。

HIAS ウェブサイト

<https://hias.hit-u.ac.jp/>



HIAS Health ウェブサイト

<https://health-economics.hias.hit-u.ac.jp/>

